



令和 5 年  
2023 年

# 9 月

日	月	火	水	木	金	土
					<b>1 大安</b> 二百十日 いぬ	<b>2 赤口</b> 三りんぼう る
<b>3 先勝</b> 一粒万倍日 ね	<b>4 友引</b> うし	<b>5 先負</b> とら	<b>6 仏滅</b> う	<b>7 大安</b> たつ	<b>8 赤口</b> 白露 み	<b>9 先勝</b> 重陽 うま
<b>10 友引</b> ひつじ	<b>11 先負</b> 二百二十日 一粒万倍日 さる	<b>12 仏滅</b> とり	<b>13 大安</b> いぬ	<b>14 赤口</b> る	<b>15 友引</b> ね	<b>16 先負</b> うし
<b>17 仏滅</b> 三りんぼう とら	<b>18 大安</b> 敬老の日 一粒万倍日 う	<b>19 赤口</b> たつ	<b>20 先勝</b> 彼岸入り み	<b>21 友引</b> うま	<b>22 先負</b> ひつじ	<b>23 仏滅</b> 秋分 一粒万倍日 秋分の日 さる
<b>24 大安</b> とり	<b>25 赤口</b> いぬ	<b>26 先勝</b> 彼岸明け る	<b>27 友引</b> 社日 ね	<b>28 先負</b> うし	<b>29 仏滅</b> 十五夜 三りんぼう とら	<b>30 大安</b> 一粒万倍日 う

## 二十四節気

【白露 はくろ】… 八日

旧暦八月酉の月の正節で、秋分前の十五日目にあたります。白露は「しらつゆ」の意で、秋気も本格的に加わり、野草に宿るしらつゆが秋のおもむきをひとしお感じさせます。

【秋分 しゅうぶん】… 二十三日

旧暦八月酉の月の中気で、この日は秋の彼岸の中日で国民の祝日にも定められ、祖先をうやまい、亡くなった人の霊をしのぶ日にあてられています。またこの日は春分と同じく、昼と夜の長さがほぼ等しく、この日を境にして徐々に昼が短く、夜が長くなっていきます。

## 六曜・選日

《六曜》

- 【先勝】… 諸事急ぐことによし、午後よりわるし
- 【友引】… 朝夕よし、正午わるし、葬式を忌む
- 【先負】… 諸事静かなることによし、午後大吉
- 【仏滅】… 万事凶、患えは長びくおそれあり
- 【大安】… 何事をするのにも吉の日、大吉日
- 【赤口】… 諸事油断すべからず、正午のみ吉

《選日の吉凶》

- 【三隣亡日】… 普請始め、棟上大凶日
- 【二りんぼう】… 三隣亡日、普請始め、棟上大凶日
- 【一粒万倍日】… 出資・投資・購入、新規事業開始
- 婚姻は吉、借りる、離別は凶

## 七十二候《9月》

### 秋分

- 初候・雷乃収声（かみなりすなわちこえをおさむ）夏の間は鳴り響いた雷が収まる
- 次候・蟄虫坏戸（おしかくれてとをふさぐ）虫たちが冬ごもりの準備をはじめ
- 末候・水始涸（みずはじめてかる）田の水を落として稲穂の刈り入れを始める

### 白露

- 初候・草露白（くさのつゆしろし）朝露が白く光って見える
- 次候・鶴鶴鳴（せせきいなく）「子子子」とセキレイの音が響きわたる
- 末候・玄鳥去（つばめさる）ツバメが南の地域へと帰っていく

※七十二候とは二十四節気の各節気をさらに3つの候に細分し、一年を七十二に分けたものをいいます。季節の移ろいを気象や動植物の成長・行動などに託して表現したものです。

## 「春社と秋社」社日とは？

社日（しゃにち・しゃじつ）とは、春分・秋分に最も近い戌（つちのえ）の日で、土地の神様をまつる日です。春の社日を春社、秋の社日を秋社と呼び、春社には五穀の種子をまつって、その豊熟を祈り、秋社には初穂を供えてその成熟を祝う行事が行われます。

農耕民族である日本では、各地でその地域によって違いはあるものの、土地の神様を信仰する風習は全国各地で根付いており、重要な農耕儀礼として現在でも様々な神事や行事が行われています。

又、この日は「土の神」をまつるので、農作業を忌むという風習があります。農作業の手を休めて産土神に参拝し、五穀豊穡を祈り大地の恵みに感謝をします。農家にとっては暦の上でも重要な節目の日となっています。

## 安産祈願 9月の戌の日

1日（金）・13日（水）  
25日（月）

\*戌の日以外でも安産祈願のご奉仕をしております。神社にお問い合わせください。

### 《18日 敬老の日》

多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日です。

### 《23日 秋分の日》

祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ日です。

● 祝祭日には国旗を掲げましょう